

**問** 税源移譲による市税の負担増や長引く景気低迷、収入減で税の累積滞納額が増加傾向にある。

市民税や固定資産税等の軽減措置や減額措置は可能か。

**答** 市税の収入未済額が増加傾向にある。当市の一般会計の歳入における自主財源の割合は22・9%でそのうち市税が約半分を占める重要な財源である。市民サービスの充実には、安定した財政基盤が不可欠であり、

現在の税率を維持する。

**問** 開設が予定されている「遠野文化研究センター」における「遠野の暮らし文化」の位置づけは。

**答** 文化的資源を市民協働で発掘調査し「まちづくり」に生かす目的で設立する。「遠野の暮らし

の文化」は遠野文化研究センターの柱になる。初心者から専門家まで、児童生徒から年配者までが、いつでも気軽に参加できる「開かれたセンター」を目指す。

**問** 遠野市こそ、農業を含めた里地、里山の機能再生と生物多様性保全の取り組みが必要でないのか。

**答** 今後、田瀬ダムの上流と下流を結ぶ魚道の整備を働きかけ、鮭が溯上し、帰ってくる「猿ヶ石川」の再生を図り、里地・里山の環境保全に努めたい。

**問** 来年度から、小・中学校（3、4学年と6学年）で法教育が実施されるが、どのような意義があるのか、また法教育元年にあたり子ども議会の開催は。

法教育は、「一般の人々が法や司法制度、これらの基礎になっていく価値を理解し、法的なものの方を身につけるための教育である。」「法は、共生のための相互尊重のルールであること」「日常生活を支える司法の基本的な考え方」「人権と国の仕組みを定める憲法及び法の基礎にある基本的価値」「司法裁判の意義と役割」等について学ぶ。子ども議会については、検討したい。



石橋 達八 議員（無党派）

## 里地・里山の機能再生について



永遠の日本のふるさと遠野の悠久なる風景

**答** 法教育は、「一般の人々が法や司法制度、これらの基礎になっていく価値を理解し、法的なものの方を身につけるための教育である。」「法は、共生のための相互尊重のルールであること」「日常生活を支える司法の基本的な考え方」「人権と国の仕組みを定める憲法及び法の基礎にある基本的価値」「司法裁判の意義

**問** 選挙投票環境の改善策及び投票率向上策は。

**答** 期日前投票のあり方等について今後とも検討を重ねる。若年層の政治への無関心、投票率の低下が問題になっている。関係機関と連携し改善したい。